長野県総合防災訓練でマルチハイブリッドシステムを展示
災害時の電力確保へ、可搬性と静音性を紹介

2026 年 10 月 25 日（日）に開催された長野県総合防災訓練において、アクティオの展示ブースで、やまびこのマルチハイブリッドシステムを展示しました。アクティオを通じてレンタル提供している本システムについて、災害現場の仮設拠点などでの電力確保に向けた活用の可能性をご紹介しました。



重機を使わずにトラックから降ろして設置できる、アクティオのジャッキ付きコンテナ（左）と、その運用に必要な電力を供給するやまびこのマルチハイブリッドシステム（右）。

災害現場での電力確保と静音性に関心

当日は、自治体・消防・大学・電力関係者の皆さまと、災害時の電力確保について意見を交わしました。とくに関心を集めたのは、蓄電池からの電力供給により発電機の稼働を抑えられる点と、その静音性です。被災地の仮設拠点では、電力を確保するだけでなく、騒音や排ガスへの配慮も求められます。

マルチハイブリッドシステムは、太陽光発電・蓄電池・発電機を組み合わせ、発電機の稼働時間を抑えることで、燃料消費・騒音・排ガスを低減します。避難所での使用を想定した合計約 5.0kW の機器に対し、発電機への給油なしで 100 時間以上の電力供給が可能と試算しています。燃料補給が限られる災害現場でも、周囲の環境に配慮しながら、継続的な電力確保を支えます。

※電力供給時間は、やまびこの試算値です。実際の機器構成・消費電力などの使用条件により異なります。

仮設拠点と電源を、必要な場所へ

今回の展示では、ジャッキ付きコンテナとマルチハイブリッドシステムを併設し、仮設拠点と電源を必要な場所へ運んで設置する活用イメージをご紹介しました。

マルチハイブリッドシステムは、太陽光発電・蓄電池・発電機を組み合わせて電力を供給するシステムです。蓄電池を内蔵したユニット「マルチハイブリッドキューブ」と専用発電機を車両で搬入し、現場の条件に合わせて据え付けることで、「移動できる独立電源」として使用できます。災害時の仮設拠点に加え、停電時の避難所で生活を支える電源としても活用できます。

建設現場の実績を、災害現場へ

やまびこは 2026 年 5 月 20 日、アクティオを通じた本システムのレンタル提供開始を発表しました。

建設現場では、すでに仮設事務所の電源として採用されています。今回は、その活用実績を踏まえ、災害現場の仮設拠点での電力確保にどう生かせるかについて、来場者の皆さまと意見を交わしました。

必要な場所に、必要な電力を。

平常時の建設現場から、災害時の仮設拠点・避難所まで。やまびこは、マルチハイブリッドシステムの可搬性と、太陽光発電・蓄電池・発電機を組み合わせた電力供給を生かし、活用の場を広げてまいります。アクティオをはじめとするパートナー企業とともに、燃料消費や環境負荷の低減、災害時の電力確保に貢献し、必要な場所へ電力を届ける仕組みづくりに取り組んでまいります。

ご来場いただいた皆さま、展示にご協力いただいた関係者の皆さまに、心より御礼申し上げます。

【導入のご相談・お問い合わせ】

やまびこジャパン株式会社　ES 推進課　energy@yamabiko-corp.co.jp